

# カミツキ合体DXキョウリュウジンの修理法（右脚が外れた）

2015.11.18/2022.07.15 改訂  
トミー・マック

## 1. 外 観

正式なおもちゃ名は「獣電戦隊キリュウジャーカミツキ合体DXキョウリュウジン」で、(株)バンダイ製です。

写真は(株)バンダイのホームページより。



## 2. 特 徴

3体の獣電竜がサンバのリズムでカミツキ合体します。乾電池のような獣電池が付いており、装着することで音や光を放ちます。竜の頭や尻尾あるいは脚が自在に動かせ、変体できます。

## 3. 故 障

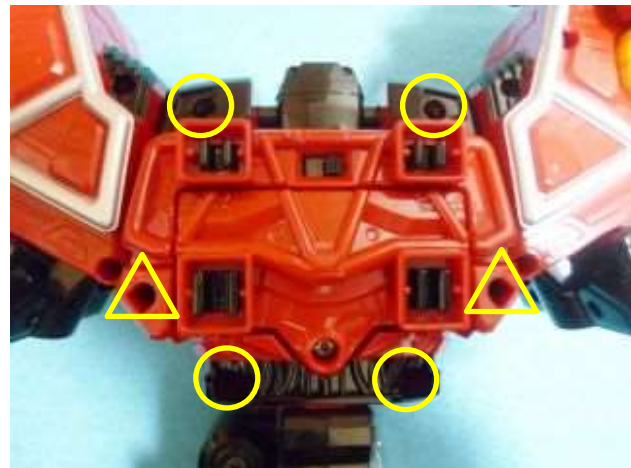
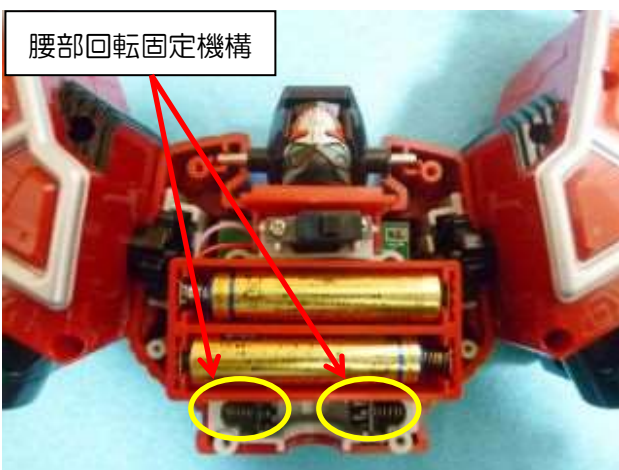
頭や尻尾を捻って回転でき、脚も回転や開閉ができるので、接続部に力が加わり折れて外れることがあります。また、体の部位を合体固定できるので、頻繁な合体により合体保持の樹脂部品が割れたり緩んだりする故障も多いです。

今回は、右脚が外れてしまった故障の修理です。

## 4. 修 理

### (1) 脚の付いた腰部の外し

腰部を胴体から外すため、胴体の背面（電池ケース側）の○印のネジ（タッピング 2.6×8）4本 △印のネジ（タッピング 2.0×5）2本を外しま



ー  
と、  
す。

胴体の背面を外すと腰部が外れますが、腰部の付け根の2ヶ所に、バネと腰部回転固定機構の樹脂部品がありますので、バネを弾けさせてバネやその樹脂部品を落とさないようにしてください。

## カミツキ合体DXキョウリュウジンの修理法（右脚が外れた）

### （2）脚の付け根の確認

腰部を外すと、右脚の付け根の関節に相当する関節樹脂部品が、割れて外れています。

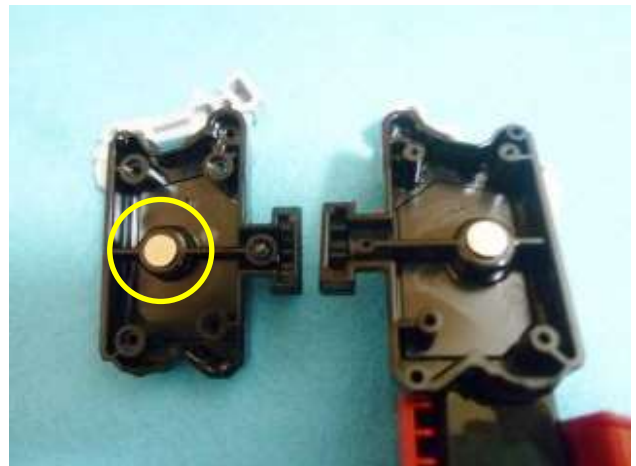
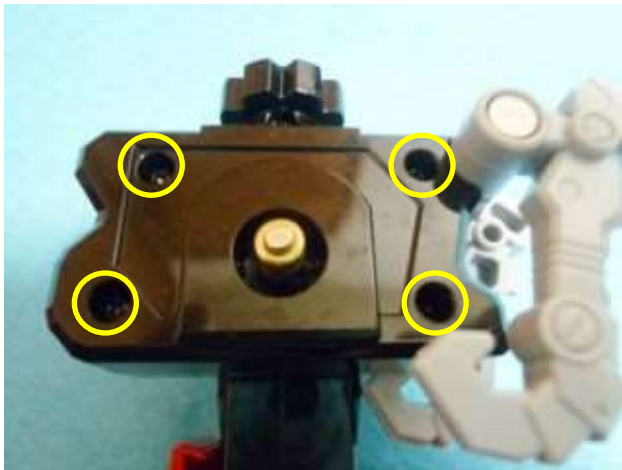
拡大して、



### （3）右脚の関節取付け部の確認

右脚の関節がどのように固定されているかを見るため、腰部のネジ（タッピング 2.0×6）黒4本を外します。

関節取付け部に、関節樹脂部品が絞められていたことが分かります。



### （4）右脚の関節の確認

右や左の脚支持部だけを外す時、良くある失敗は、脚の内側の脚支持部固定板を留めたネジ（タッピング 2.0×6）5本を外してしまうことです。外さなくても下の様にすれば出来ます。

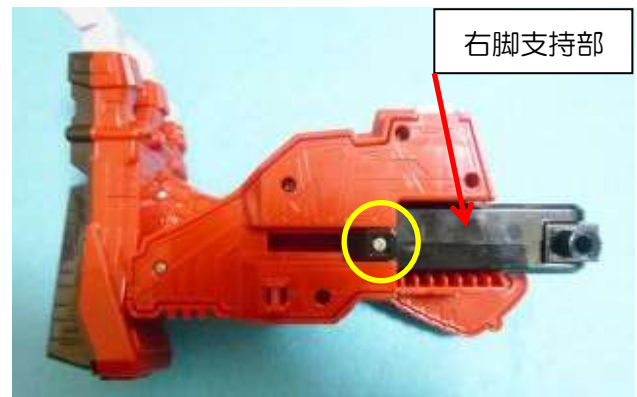


## カミツキ合体DXキョウリュウジンの修理法（右脚が外れた）

### a) 右脚支持部の取り外し

内側のスライド固定の樹脂を留めている、ネジ（タッピング 2.6×8）1本を外します。

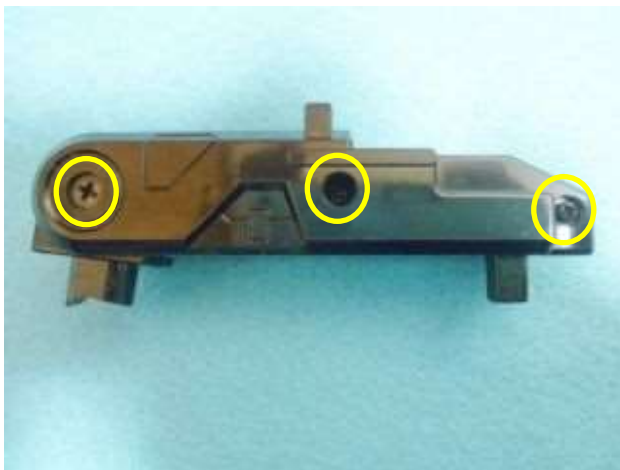
右脚は外側へ力を入れれば、容易に外れます。



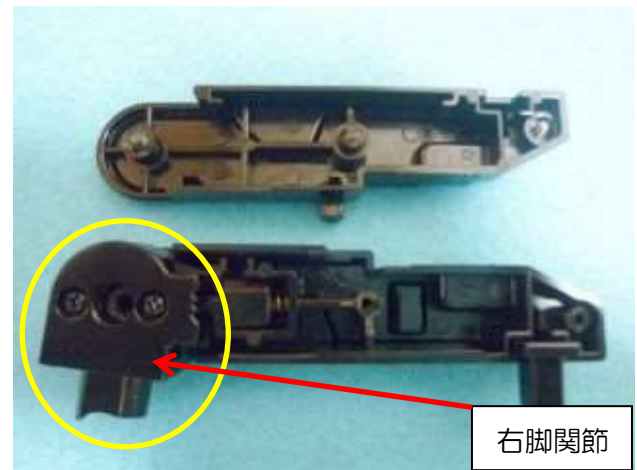
サラネジ（タッピング 2.0×4）黒1本を外し、右脚支持部を右脚支持部固定板から潜り抜けるようにして外します。

### b) 右脚支持部の分解

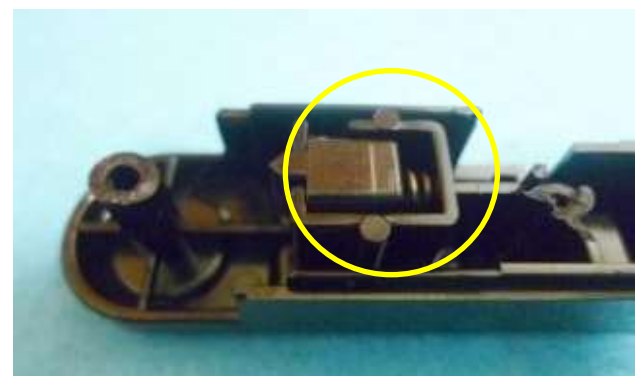
サラネジ（タッピング 2.3×6）黒1本  
ネジ（タッピング 2.0×5）黒2本を外します。



分解すると、



右脚関節が見えますので、それを外すと近傍に、バネと脚回転固定機構の樹脂部品がありますので、バネを弾けさせてバネやその樹脂部品を落とさないようにしてください。



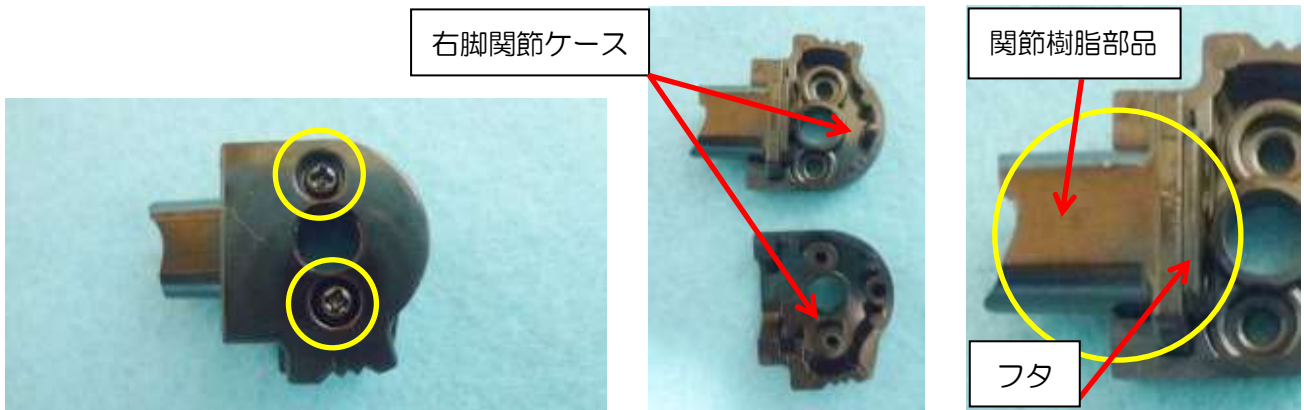


## カミツキ合体DXキョウリュウジンの修理法（右脚が外れた）

### c) 右脚関節の分解

ネジ（タッピング 2.0×5）黒2本を外します。

分解すると、

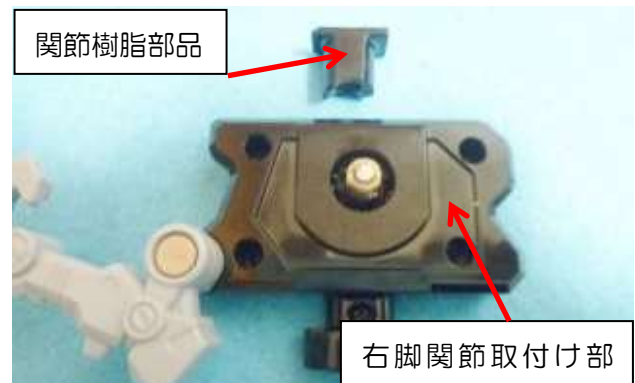


右脚関節取付け部に絞められていた丸印の関節樹脂部品と、フタを取り出します。

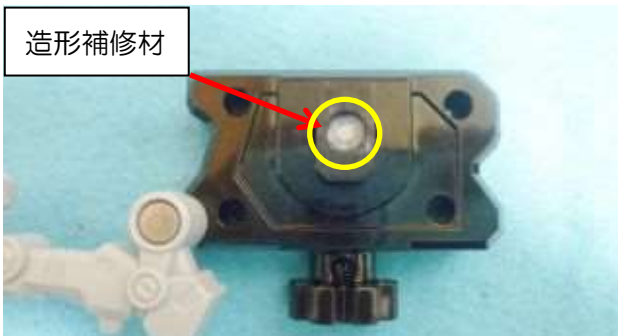
### (5) 関節樹脂部品の取付けの修理方法

右脚関節取付け部に関節樹脂部品が絞められていたので、仮に関節樹脂部品を造形補修材で、新しい部品を作成しても、取り付けることが困難と判断しました。

やむを得ず、造形補修材での接着をすることにします。

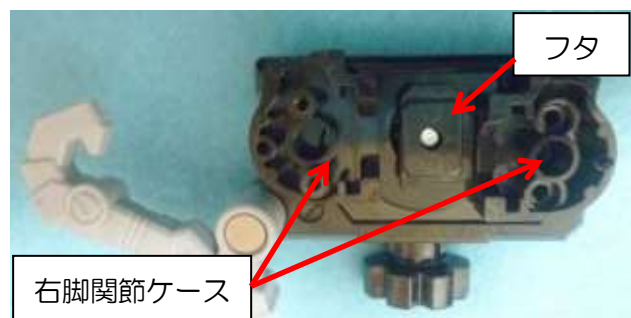


### (6) 右脚関節取付け部に関節樹脂部品の取付け



関節樹脂部品を、右脚関節取付け部の元の位置にはめ込み、絞めてある金属に固定するため造形補修材（ブラリペア®）を充填します。

その後、フタを取付け、右脚関節ケースをネジ（タッピング 2.0×5）黒2本で留めます。



### (7) 元に戻す

- 右脚関節の組立て
- 右脚支持部の組立て
- 右脚支持部の取付けと組立て

## カミツキ合体DXキョウリュウジンの修理法（右脚が外れた）

- 右脚の取付け
- 関節取付け部の組立て
- 腰部の組立て

## 完成

### 5. あとがき

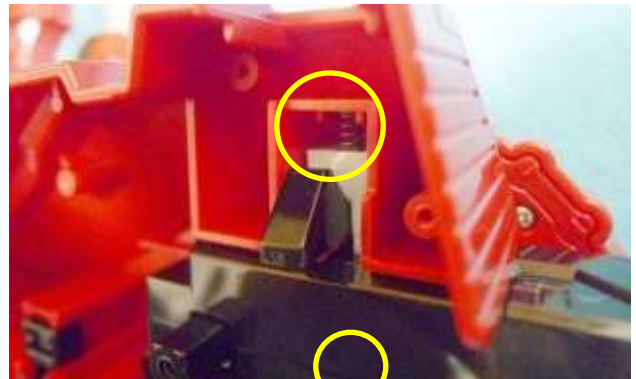
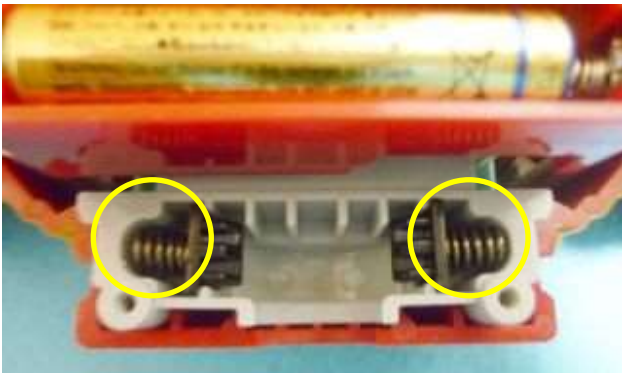
#### （1）小さなバネ

このおもちゃは、頭や尻尾を捻って回転でき、脚も回転や開閉ができます。また、他の獣電竜や獣電池とも合体ができます。

従って、回転や開閉や合体を固定するために、小さなバネを使った固定機構が数多く見られます。

修理のため分解する際に、そのバネや固定機構の樹脂部品をなくさないようにしてください。

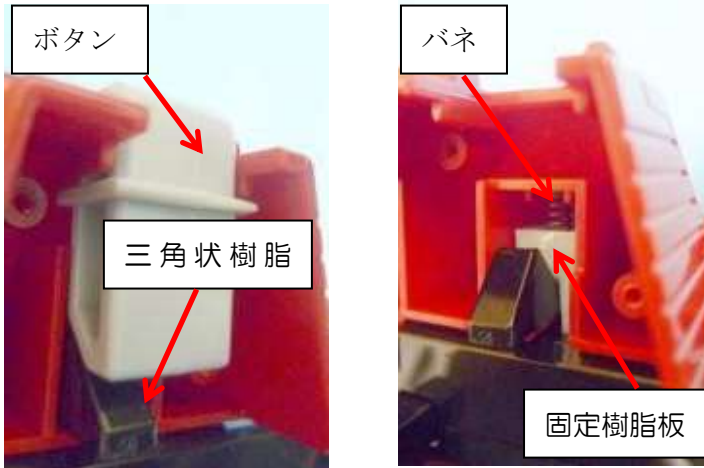
一例として、



## カミツキ合体DXキョウリュウジンの修理法（右脚が外れた）

### （2）組立てで困る例

他の修理で、脚支持部固定板を外す場合があり、脚支持部のボタンが外れることがあります。ボタンとバネ、三角状樹脂板、固定樹脂板で構成され、写真の配置になります。



これらの部品を、入れる順番や方向を間違わないようにして組み立ててください。

終わり